

平成27年度 産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会
第17回デザイン分科会

日時：平成27年6月11日（木）～12日（金） 13:00～17:50

参加者：47名

本会議議事録

1 開会 司会：デザイン分科会副会長 加悦秀樹

2 挨拶

デザイン分科会会長 川本 誓文
ライフサイエンス部会 宮田 なつき
京都府中小企業技術センター 小林 章一



川本会長（大阪府）



宮田氏（産総研）



小林氏（京都府）

3 議事 議長は慣例により開催地から選出→議長：加悦秀樹

1) 連絡事項 川本会長

デザイン分科会としての取組みに関する課題等について説明。

デザイン分科会情報サイト「こらぼんWEB」を新設。

◇次期開催予定

- 平成27年度（秋）千葉県で10月29～30日に開催
- 平成28年度（春）広島県で開催
- 平成28年度（秋）山梨県で開催
- 平成29年度（春）長崎県で開催
- 平成29年度（秋）静岡県で開催

◇デザイン分科会役員

- 平成28年度分科会長として広島県立総合技術研究所・橋本晃司氏が就任予定（任期は平成29年秋総会まで）

課題、運営について承認。

2) 施策紹介

経済産業省、商務政策局 生活文化創造産業課（クリエイティブ産業課）の中谷浩之氏から「デザイン政策の概要」と題し、施策の紹介があった。



経済産業省 中谷氏



GK京都 吉田氏

3) 講演

株式会社GK京都相談役吉田治英氏から「京都における地域デザイン」と題し、講演があった。

4) 研究交流会

ものづくりデザイン研究会（5階第4会議室）、地域デザイン研究会（5階交流サロン）、ユニバーサルデザイン研究会（1階第1会議室）の3研究会に分かれて、それぞれのテーマに基づき意見交換を行った。



ものづくりデザイン研究会



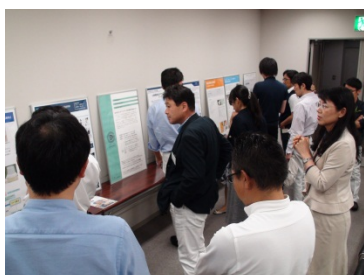
地域デザイン研究会



UD研究会

5) ポスターセッション（5階研修室）

15枚のポスターを展示し、各自治体の事業紹介やデザイン開発事例の紹介があった。熱心な意見交換がなされた。



ポスターセッションの様子



全体会議の様子



こらぼんWEB開発者紹介

6) 全体会議

① 研究会報告

ものづくりデザイン研究会：野上氏（滋賀県）

- 3D関係がひとつのテーマだが、金属プリンターが導入された試験場がいくつかあり、3DCADや3Dプリンターの活用について議論した。山梨県では活用に関するセミナーが盛況であり、年間50講座実施されている。静岡県ではシリコン型を作成し、福祉用具等の試作に役立てているという報告があった。
- 最近の傾向として医療関連の取組が増えている。また、作るだけでなく販路開拓の支援も重要であることが報告された。滋賀県は仏壇産地であり、小さな仏壇が売れる傾向にあり、日デ振グッドデザイン賞でも同様の状況である。家に置く骨壺などもあり、新しい祈り・宗教の形が提案されつつある。
- 3Dプリンターのデータベースを作ってはどうかという提案をしたところ、既に産技連製造プロセス部会でまとめているという情報があった。今後連携して3Dプリンターの利用を促進し、一般への開放も含めて検討したい。
- 研究会幹事を引き受けてきたが、次は山口県の松田さんをお願いして快諾いただいた。この件を紹介して報告を終わる。

地域デザイン研究会：岡村氏（千葉県）

- 15機関という、たくさんの自治体から参加いただいた。切り口としては一般的なゼネラルな技術支援に関するもの、あるいは産地を底上げするための支援、あるテーマに特化して研究・発表、食についての注力などさまざまである。
- 一般的な支援としては秋田県、大阪府、千葉県、京都府、鳥取県が報告された。大阪府では「中小企業デザイン開発思考」という冊子を作られた。デザインの基礎知識が欠けている中小企業経営者にマーケティングも含めつつデザインングのトータルなフォローをされたもので、優れた資料と思う。
- 産地の取組としては 京都市の「京ものエントリーモデルプロジェクト」で京都の伝統工芸品をブラッシュアップされた事例が発表された。
- 特化した事例としては、山形県では有機EL事業を実施し、様々なイベントを行って成果をあげている事例が報告された。
- 食に関しては北海道と宮崎県が注力されている。北海道は食品部門とデザイン部門がいっしょになって開発が行われ、宮崎県も食に力を入れ、こちらも一緒になって開発されている。
- 補助金事業については埼玉県が新しい岩槻人形の開発など、非常にユニークな取組をされている。京都府では日デ振との共同事業でGマークの取得を増やそうとするプロジェクトが報告された。
- 経済産業省の中谷さんが参加していたことから、サポイン事業において「デザインだけにウエイトを置いていても通るものなのか」「零細企業が多いので、それでも通るものなのか」「どういった成功イメージがあるのか」という質問があった。また管理法人の事務経費について改善の要望もあった。その他の質問ではデザインやクラフト関係の振興、食に関してなど中谷さんを中心に質問があり、意見交換を行った。

ユニバーサルデザイン研究会 易 氏（静岡県）

- ・メンバー9人でこじんまりとした話し合いを行った。各所属から取組や研究成果の紹介があった。広島県では感性人間工学をキーワードとして製品開発を支援している。感性人間工学の製品認定制度もスタートするという報告もあった。岐阜県では椅子を中心に製品開発の事例紹介があった。臀部の形状を計測する技術を研究所で開発し、それを応用してスポーツチェアとして製品化された事例があった。
- ・産総研の宮田さんからはデジタルヒューマンのモデルの紹介があり、製品開発に応用できるようなプラットフォームを作りつつあるので活用してほしいとの要望があった。試してみる機会としては「地域産業活性化人材育成制度」があり、これを活用すれば4週間程度の研修で負担なしで習得できるので、参加してほしいというお知らせがあった。
- ・京都市からは一般の人の食器とも違和感の無いような機能性介護食器の開発事例が報告された。
- ・人間生活工学研究センターの畠中さんからは人間生活工学製品機能認証マークも使える認証制度の紹介があった、詳細などはパンフに記載。
- ・京都府からはデザイナーと企業のマッチングを中心に、3D映像等の支援を行っているという報告があった。今後製品コンテンツをつくる際の課題についても情報があつた。
- ・最後に静岡県としては人間計測技術を統合しつつ、現場で簡単に計れるようなシステムを開発している最中である。
- ・ユニバーサルデザインはブランディングや製品づくりの上流の段階で必要な技術だというのが、大きな流れと考えられる。しっかりしたものづくりが日本の強みである。ものづくりの上流の段階でユニバーサルデザインを反映していく必要があるという意見があつた。
- ・最近の相談の状況として、人間工学関連の相談が減っているような印象がある。原因は大学等でも企業の相談を受けるようになり、相談する所が増えた事が考えられる。また、企業でも自社設備等が整ってきたのであまり相談に来る必要がなくなったとも考えられる。これからは公設試も企業等へ出かけていく必要があるかも知れない。

（質疑応答）

Q：埼玉県・影山氏：金属プリンターは現在どのように使われているのか。

A：山口県・松田氏：まだ実際には使いこなせていない。データがあればすぐできるというのではなく、ノウハウの蓄積が必要。今後の課題と考えている。

山梨・串田氏：企業向けのセミナーを実施しつつ、自分たちも勉強しているところである。

◇「デザイン活用支援ツールのアンケート調査」について

（北海道・印南氏から説明）

- ・デザイン分科会のメーリングリストを使い、標記アンケートを実施したところ、協力いただきお礼申し上げます。報告書が出来上がったので、御協力いただいた団体に向けこれから送付する。今後とも調査を続けたい。

- ◇「人間生活工学製品機能認証」について（人間生活工学研究センター・畠中氏から説明）
- ・ 標記認証制度を発足させた。工業製品の「使いやすい、負担が少ない」など、人間に対して一定の効果や影響をもたらす機能を認証し、作り手と使い手のコミュニケーションを促進させる。ぜひ企業さんにも推奨されたい。また、「人への優しさ」や「人間生活工学製品機能認証」を紹介するセミナーも企画している。若干費用負担をお願いするが、皆さんの要望に応じたセミナーができればと思っている。
- ◇「こらぼんWEB」の説明について（川本分科会長から説明）
- ・ 公設試における研究・指導成果の発信や、地域間の新たなものづくりのコラボレーションとして4年前から進めてきた「こらぼん」を発展させ、デザイン分科会の新サイト「こらぼんWEB」の暫定版を制作した。
 - ・ 本サイトについては、1ヶ月間の試用期間（7月11日まで）を設け、過去に「こらぼん vol1,vol2」に情報を掲載していただいた方々に対して、データの確認と修正作業をお願いする。試用期間終了後は公開し新規投稿も可能なサイトとして周知していきたい。
 - ・ 集めた情報を上記 web に各地の担当者が自主的に投稿し、公設試のネタ本として活用願いたい。
 - ・ 開発に携わったメンバーを紹介したい。
滋賀県・野上氏、大阪府・木下氏、山梨県・串田氏紹介。

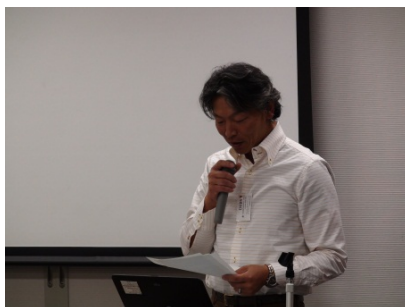
3) 次期開催県、次年度開催県の紹介と挨拶

○次期開催県：千葉県産業支援技術研究所 岡村 成将 氏

第18回秋の分科会は10月29日（木）午後を予定し、30日（金）も見学会を開催したいと考える。会議終了後グッドデザイン賞受賞展、東京デザイナーズウィーク、東京モーターショーも見学いただければと設定した。場所は千葉市内を予定している。要望があればお知らせ願いたい。

○次年度開催県：広島県立総合技術研究所 橋本 晃司 氏

第19回秋のデザイン分科会をお引き受けさせていただくこととなった。広島にはGKデザイン総研広島もあり、工業都市としての一面もある。マツダミュージアム等を見学いただき、伝統工芸等も見えていただければと願っている。日程は本年と同じような時期を考えている。また、分科会長もお引き受けすることになった。大任ではあるが微力ながら努めさせていただく。よろしく願いたい。



千葉県 岡村氏



広島県 橋本氏

意見交換回（交流会）

会場：レストラン「パティオ」

京都府京都市下京区中堂寺南町 134 京都リサーチパーク 1 号館 1 F

参加人数：41名

概要：各地域のデザイン関連施策・事業に関して熱心な意見交換がなされた。



京都市産業技術研究所 瀧本氏



意見交換会（交流会）の様子

〈2日目：視察研修会〉

◆株式会社川島織物セルコン視察

場所：京都市左京区静市市原町265

参加人数：30名

概要：伝統技術を元に帯や舞台の緞帳（どんちょう）・祭礼幕から、明治宮殿の室内装飾をはじめとするカーテン、カーペット、壁クロスなどの壁装材によってわが国のインテリア・室内装飾事業を創業した企業を訪問。



株式会社川島織物セルコン視察の様子



◆京都三条通り界隈の町並み視察

場所：京都市中京区三条高倉周辺

参加人数：30名

概要：京都府京都文化博物館を含め、三条通り界隈を視察。

◆株式会社島津製作所視察

場所：京都市中京区西ノ京桑原町1番地

参加人数：30名

概要：1960年代からGマークを取得し、現在まで70点近く受賞歴のある企業を訪問。



株式会社島津製作所視察の様子

◇オプションツアー1：

場所：京都リサーチパーク 京都市下京区中堂寺南町 134

参加人数：14名

概要：京都リサーチパーク、京都市産業技術研究所、京都府中小企業技術センター等を視察。



京都市産業技術研究所視察の様子

◇オプションツアー2：島原界隈散策

場所：京都市下京区西新屋敷周辺

参加人数：14名

概要：京都の古い花街である島原を散策。



島原界隈散策の様子